

平成 20 年 11 月 4 日

1. 基本的な考え方

保険者が保健事業・医療費支出について通常の業務の中で収集可能な情報を必須事項として収集をお願いする。保険者によっては病名等の詳細な情報を保持している可能性があるため、こうした情報の提供が可能な保険者についてはこれも収集対象とする。収集する情報は匿名化されたもののみとする。そのため保険者内で匿名化を可能とするためのソフトウェアを提供する。

なお収集する情報のうち*印は消去した上で収集する。さらに**印は一部情報を消去した上で収集する。

2. 保険者が収集整理すべき情報の種類（必須事項）

1) 集計対象者情報（平成 20 年特定健診実施対象者すべて、平成 20 年 4 月現在）

- A) 加入日
- B) 脱退日（原則として空白）
- C) 保険者番号*
- D) 被保険者番号*
- E) 被保険者記号*
- F) 対象者氏名（カナ）*
- G) 対象者生年月日**（月までを収集）
- H) 性別
- I) 被保険者との関係（親、夫婦、兄弟、子、その他）
- J) 職員番号、住所、部署等*（照合をわかりやすくするため）
- K) 郵便番号**（上 3 桁までを収集、必須事項から除外しオプションとする）
- L) 匿名化番号（匿名化ソフトにより作成）

2) 異動情報

3 回収集(平成 21 年 4 月現在、平成 22 年 4 月現在、平成 22 年 12 月現在)
年度内に複数回の脱退がある場合には最初または最後の加入・脱退日を採用。
抽出項目は下記の通り

匿名化番号、加入日、脱退日、生年月、性別、被保険者との関係、郵便番号（3 桁）

3) 医療費情報（平成 20 年特定健診実施対象者すべて）

当該期間のすべてのレセプト情報が収集対象となる（平成 18、19 年度、平成 20、21 年度）。提出前に匿名化番号に変換し、個人識別情報を消去した上で提出していただく。

- A)個人識別情報**（生まれ月のみ収集）
- B)年月（西暦または和暦）
- C)医科・歯科・薬の区分
- D)入院・外来の区分
- E)請求点数
- G)決定点数
- H)匿名化番号

4) 健診情報（平成 20 年特定健診実施対象者すべて）

匿名化ソフトにより健診受託者等から送付された XML データに匿名化番号を付して個人識別情報を削除した上で健診データ（XML）を作成する。

- A)個人識別情報 ——> 個人情報を削除し匿名化番号に変換（生まれ月のみ収集）
- B)健診結果
- C)2 2 の標準的問診票

5) 平成 20 年度健診結果からの階層化の結果動機付け支援・積極的支援対象者リスト

下記の情報を用いて匿名化データを作成する（CSV）。

- 保健番号・記号*
- カナ氏名*
- 生年月日*
- 匿名化番号
- 動機付け支援・積極的支援の別

6) 保健指導結果最終報告（平成 20 年特定健診実施対象者すべて）

健康診断結果と同様に保健指導受託者から提出された特定保健指導結果最終報告（XML 形式）を匿名化ソフトを用いて匿名化した上で提出する（XML 形式）。

個人識別情報 ——>個人情報を削除し匿名化番号に変換（生まれ月のみ収集）

実施日

- 指導の内容
- 完了の有無

7) 個人情報の保護

研究班が扱うすべての個人情報は、個人情報保護法に基づき適切な方法で取り扱います。具体的には、保険者は氏名等の個人情報を削除する代わりに、対象者一人一人に対し異なる番号（任意の、意味のない番号を想定）を付番したデータ（匿名化されたデータ）を研究班に提出することになります。従って、研究班に提出されたものから独自で個人を特定

することはできません。

保険者は、研究期間中は番号の対応表を保管し、データ提出の際は、同じ対象者に対しては毎回同じ番号を付番して提出することで、研究班において複数年のデータを突合することが可能となります。なお、各保険者における個人情報保護に関する規定も遵守されるよう、保険者と取扱いを協議します。

3. データ授受のサポート体制

1) 対象者情報の匿名化の手順 (HI エンクリプターを使用する)

L) 匿名化番号 (自動的に発生)

匿名化番号は保険者情報 (3桁)

ランダムに付した番号 (7桁)

生まれ月 (2桁)

これらの情報から「郵便番号、被保険者との関係、生年月、性別、匿名化番号」を抽出し提出する (対象者リスト、形式 CSV)。

2) 医療費情報の匿名化・提出手順

月ごと、医療施設ごとに発生したレセプト情報から個人識別情報を削除して、代わりに匿名化番号を付してデータを作成する。月ごと (複数月可) のレセプトデータを入れると集計対象者リストに記載されたレセプト情報のみが抽出、匿名化されデータセット (医療費情報、CSV) が作成される。

3) 健診・保健指導の匿名化・提出手順

健診・保健指導ファイル (XML形式) から個人情報 (生年月日、性別、氏名 (カナ)、保険番号、記号) を削除して、匿名化 ID を付す。さらに結果集計に必要な情報を抽出して匿名化データセットを作成する (健診保健指導情報、形式 CSV)。

4) 病名 (可能な施設について収集)

保険者によっては個人ごとの病名情報を保持している場合があります。本事業では生活習慣病関連医療費への影響を明らかにすることが目的となっており、可能な保険者については、是非ともご協力いただきたいと思います。

第1の場合は毎年5月に行う病名調査の結果です。国保等ではこの情報を国保連合会が保持している場合があります。こうした情報の提供を受けることができる場合には、病名をリンクさせ解析を行います。病名情報の取り扱いには各国保連合会によって大きく異なることが考えられるので、提供について了解をいただける場合には、国保連合会との詳

細な協議について研究者も関わりながら進めたいと思います。

第 2 の場合は独自の活動により病名情報を収集している機関の場合です。この場合は収集法、病名分類が多岐に渡ると考えられるため提供可能な保険者と協議の上で詳細を検討することとします。

これらオプション情報も医療費、健診情報と同様に匿名化した上で収集を行います。病名コードは原則として ICD10 を用いることとし、異なったコードの場合は ICD10 との照合表の提供を受け事務局で変換する予定です。

病名についてはきわめて重要な個人情報であるため、病名のうち収集対象とする病名は生活習慣病関連病名のみにかぎります（高血圧、高脂血症、糖尿病、脳卒中、急性心筋梗塞等）。収集対象とする病名の詳細は今後さらに検討させていただきます。収集対象となる病名以外は削除のうえ提出させていただきます（匿名化ソフトに機能を保持させる予定）。

5. 医療費分析匿名化ソフトの概要

1) データベース構造

処理記録テーブル

匿名化テーブル(集計対象者リスト)

異動記録 1 (匿名化前、後)

異動記録 2 (匿名化前、後)

異動記録 3 (匿名化前、後)

医療費テーブル(匿名化前、後)

平成 20 年健診テーブル(匿名化前、後)

平成 21 年健診テーブル (匿名化前、後)

平成 20 年度特定保健指導対象者リスト (匿名化前、後)

平成 21 年度特定保健指導対象者リスト (匿名化前、後)

平成 20 年度保健指導テーブル(匿名化前、後)

平成 21 年度保健指導テーブル(匿名化前、後)

病名テーブル(匿名化前、後)

その他のテーブル 1 (任意 匿名化前、後)

その他のテーブル 2 (任意 匿名化前、後)

2) 機能

被保険者番号・記号・生年月日・性別を用いた匿名化 ID との照合表の作成

異動記録、医療費、健診データ、保健指導対象者、保健指導、オプションの匿名化作業

および上記の匿名化データの出力

3) 補助機能 (予定)

レセプトデータ (月別) の年間医療費への変換機能

XML から CSV への変換機能

複数データのマージ機能（複数データの統合）

V1.1 での変更点

1. 郵便番号を必須事項から除外、記載されている場合のみ受け取る。
2. 特定健診・保健指導の情報は XML を基準とするが、CSV の場合にはデータの仕様を検討した上で、変換可能であれば受け入れる。

参考資料

1. 特定健診の XML ファイル（黒字斜字体部分を消去変更して匿名化）
CSV への変換は研究事務局で CSV に変更する（予定）。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
```

```
- <!--
```

```
2008.05.10 項目を充実して新しいサンプルを作成
```

```
-->
```

```
- <!--
```

```
20080713 ../xsd/hc08_V08.xsd → ../XSD/hc08_V08.xsd に修正
```

```
-->
```

```
- <ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3"
```

```
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
```

```
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../XSD/hc08_V08.xsd">
```

```
- <!--
```

```
  ヘッダ情報記述部
```

```
-->
```

```
- <!--
```

```
CDA のデフォルト
```

```
-->
```

```
<typeId root="2.16.840.1.113883.1.3" extension="POCD_HD000040" />
```

```
<id nullFlavor="NI" />
```

```
- <!--
```

```

報告区分コード
-->
<code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
- <!--
文書発行日（西暦）
-->
<effectiveTime value="20080510" />
<confidentialityCode code="N" />
- <!--
受診者情報
-->
- <recordTarget>
- <patientRole>
- <!--
「
  保険者番号
  -->
  <id extension="12000001" root="1.2.392.200119.6.101" />
  - <!--
  被保険者証等記号
  -->
  <id extension="あああ" root="1.2.392.200119.6.204" />
  - <!--
  被保険者証等番号
  -->
  <id extension="103" root="1.2.392.200119.6.205" />
  - <!--
  受診者
  -->
- <addr>
  <postalCode>113-8655</postalCode>
  東京都文京区本郷7-3-1
  </addr>
- <patient>
  <name>タナカカズコ</name>
  - <!--

```

```

性別
-->
<administrativeGenderCode code="2" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104"
/>
- <!--
生年月日
-->
<birthTime value="19600203" />
</patient>
</patientRole>
</recordTarget>
- <!--
Author
-->
- <author>
- <!--
J
作成日
-->
<time value="20080510" />
- <assignedAuthor>
<id nullFlavor="NI" />
- <representedOrganization>
- <!--
作成機関の ID 番号
-->
<id extension="1323456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
- <!--
作成機関名
-->
<name>東京健診センター</name>
<telecom value="tel:0312341234" />
- <addr>
<postalCode>112-1111</postalCode>
東京都港区みなと1-1-2
</addr>

```

```
</representedOrganization>
</assignedAuthor>
</author>
- <custodian>
- <assignedCustodian>
- <representedCustodianOrganization>
  <id nullFlavor="NI" />
  </representedCustodianOrganization>
  </assignedCustodian>
  </custodian>
- <participant typeCode="HLD">
  - <!--
  受診券
  -->
  <functionCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.208" />
- <time>
  - <!--
  有効期限
```

以下略

研究協力施設

平成 21 年 3 月 31 日現在

岩手県	矢巾町生きがい推進課
福島県	只見町保健福祉課保健班
福島県	三春町役場保健福祉課国保医療グループ
岐阜県	多治見市保健センター 健康福祉部
滋賀県	大津市健康保険部 健康推進課健診保健指導室
滋賀県	東近江市役所健康福祉部 健康推進課
兵庫県	瀬戸内市市民生活部市民課
福島県	白河市保健福祉部健康増進課予防管理係
福島県	白河市市民部国保年金課
福島県	西郷村 福祉課国保係
滋賀県	豊郷町保健福祉課 保健係
大阪府	カネカ健康保険組合
滋賀県	東レ健康保険組合
広島県	中国新聞 健康保険組合
福岡県	福岡県農協健康保険組合 保健事業課
東京都	東京ガス健康保険組合 生活習慣病対策室

(以上 16 施設)

尚現在検討中施設は除外した